

救急車の適正利用にご協力をお願いします！

【平成27年 河内長野市消防本部】

救急需要は全国的に高齢化とともに今後も増え続けることが予想されていますが、河内長野市においても救急件数及び高齢者の搬送割合は増加しており、同時に現場到着時間、病院収容時間は延長傾向にあります。限られた数の救急隊では出動が重なることも！！

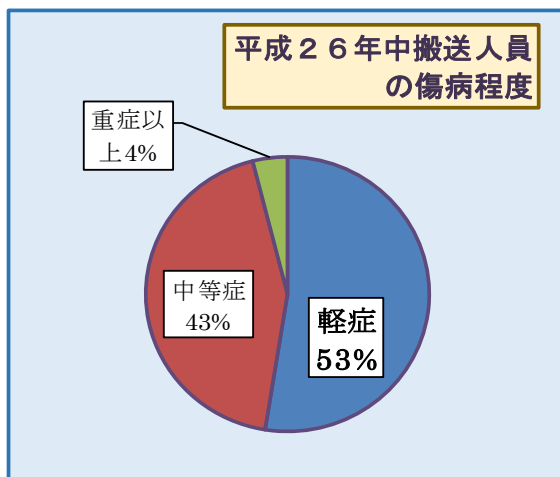


平成20年中の救急件数
4090件

平成26年中の救急件数

4882件！！

このような状況の中、救急車で搬送された人の約半数は入院を必要としない軽症です。この中には本来救急車を利用する必要がなかった人もいる可能性があります。症状に緊急性がなくても「交通手段がない」「どこの病院にいけばいいかわからない」「便利だから」「困っているから」といった理由で救急車を呼ぶ人もいます。



医療資源は限られた大切なものです。いざというときの自分自身の安心のために、救急医療受診について考えてみませんか？



河内長野市消防本部のホームページでは「救急車の上手な利用法」を案内しています。

<http://www.city.kawachinagano.lg.jp/static/kakuka/shoubou/contents/index.htm>

※緊急性がある場合はためらわずに119番！



救急車を呼ぶべきか迷うときは救急相談窓口の利用も

救急安心センターおおさか（24時間365日対応）

#7119 または 06-6582-7119

小児救急医療電話相談事業（20時～翌8時365日対応）

#8000 または 06-6765-3650

「予防救急」を知っていますか？

病気や怪我の中には、少し注意するだけで防げるものがあります。救急車なんて本当はだれも呼びたくありませんよね。救急車を必要とすることがないように、日頃から心がけることで病気や怪我を防ぎましょう！！



転倒事故予防

- 敷居の段差を出来るだけなくす！
- 階段の手すりを使う！
- 暗い場所には明かりを！
- 歩きやすく安全な履き物を！
- 畳の上の広告やビニール袋はすべりやすい！

※全国的な統計では、お年寄りの住み慣れた自宅内での転倒事故が増えています。

入浴事故予防

- 湯温は低めで長湯をしない！
- 浴室、脱衣所の温度差を小さく！
- 食事、飲酒直後や深夜の入浴は控える！
- 長風呂には家族がこまめに声掛け！

- お風呂、シャワーの温度は要確認！
- アイロン、電気ポットのコードに注意！
- コンロ火の服への着火は危険！
- 電気毛布、こたつの低温やけどに注意！

やけど予防



熱中症予防

- 暑い日はがまんせずにエアコンも上手に使おう！
- 夏場はこまめな水分、塩分補給を！
- 小さいお子さんの車内放置は絶対ダメ！



普段から規則正しい生活を心がけ、生活習慣病の予防にも取り組みましょう。

チラシに関するお問い合わせ先
河内長野市消防本部 警防課 TEL 0721-53-7799

